

干支の置物「午」

2025年11月16日(日)

10:00 ~ 12:00



木材加工用機械作業資格者が丁寧に指導しますので初めての方も安心です。材は、白い柔らかな美しい岩手県産のユリノキを使用。県民の森オリジナルの愛らしい午の親子です。※糸鋸を使って製作します。

【すべての方対象】

【定員】10名

【参加費】3,000円

【集合】9:45に木材工芸センター



県民の森で一足早いクリスマス

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

Forest X'mas

2025年12月13日(土)

10:00 ~ 15:40

八幡平市の大人気店

Obuke base 特別出店

お菓子類やクジ
ミニゲームコーナー等
盛りだくさん！



※写真はイメージです

・クリスマスデコレーション

①松ぼっくりでXmas ツリーづくり
参加費：1個300円、先着30個限定
受付は15:00まで

②Xmas リースづくり
参加費：1個1,000円
受付は15:00まで



※予約承ります

・盛岡大学短期大学部「影絵人形劇サークル」特別公演

① 影絵人形劇公演(無料)

1回目：10:00 ~ 10:40

2回目：13:20 ~ 14:00



『森でかくれんぼ』『へんな森』の森のお話と『手影絵』他。影絵の世界をお楽しみください！



② 教室「親子で作ろう!! 影絵人形!!」

1回目：10:50 ~ 12:20

2回目：14:10 ~ 15:40

- ・1作品200円
- ・親子12組限定(予約制)



影絵人形を一緒に作ってやってみましょう。

※カッター・ハサミを使用しますので小学校3年生以下は必ず保護者同伴。



森林ふれあい学習館 ギャラリー 展示

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

あぐりアート展 2025年11月12日(水)~12月25日(木)



農業に携わる女性たちが、愛情込めて栽培した野菜、果物、花卉、茸類などを身近な農具、民具に生ける“農の生け花”。

「あぐりアート」は、世界で初めて日本に誕生した農村の文化、農の芸術です。岩手山麓の八幡平ならではの作品をどうぞお楽しみください。



岩手県森林公園

県民の森だより

2025.
11
Vol.238

発行 岩手県県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



ニホンリス(昭和の森にて) 2024/11/24

11月に入ると、繁っていた葉が落葉して、すっかり森が明るくなります。気が付くと稜線が白くなり、そのうち県民の森に雪の舞う日が訪れます。雪化粧するとこれまで馴染んできた風景が一変して、知らない世界にきたような気分になります。晴れの日が続くと、また雪が融けて親しんできた風景が戻ってきます。雪が降ったり、融けたりを繰り返して、すこしずつ心も身体も冬の到来の準備を始めるのです。

岩手県県民の森 管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレスト i

TEL. 0195-78-2092 FAX. 0195-71-1778

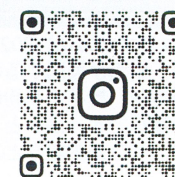
開館時間：9:00 ~ 16:00 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

アイ

Instagram 始めました



@forest_iwate



@MORI_IWATE

岩手県県民の森 検索

晩秋の岩手山麓、カラマツを愛でる

日本産の針葉樹のなかで唯一落葉するカラマツ。晩秋に美しく黄葉します。岩手山麓には多く植林されており、他の木が落葉したあとに見られる黄葉は、晩秋の風物詩となっています。



【みんなの広場から望むカラマツ林】2024/11/14
キリリと冷え込む朝。岩手山から裏岩手の山々を背景に、山麓のカラマツが一斉に黄葉する様は心が洗われます。



【散策路 A コースのカラマツ並木】2024/11/11
木材工芸センター裏に整然と植栽されたカラマツ並木は、陽が差すと黄金色に輝いて晩秋の黄葉を味わいながら散策できます。



【カラマツの黄葉】2021/11/3 【右上】カラマツの新緑 2025/5/16
葉は、短枝に数十本の針のような葉が束になってつきます。枝先は長枝で葉はらせん状につきます。黄葉が有名ですが、新緑も美しいです。



【雪化粧のカラマツ】2024/11/23
黄葉のカラマツに雪が降り積もると、これまでとは全く異なる幻想的な風景になります。カラマツは秋と冬を行き来する紅葉の最終ランナーです。



【カラマツの花】2025/4/24
春、新葉が展開するのと同時に、花が咲きます。右の下向きに咲く黄色い花が雄花、雄花の花粉は風に乗って飛んでゆきます。下のピンクの上向きの花が雌花です。高いところにできるので、間近でみられることが少ないのですが、ぜひ双眼鏡などで見ていただきたい可愛い花です。



【カラマツの球果】2020/4/11 【右上】雪上に落ちたカラマツの枝 2025/1/10
カラマツの球果はその年の秋に熟し、晴れた日に松笠が開いて、翼がついた種子が風に乗って飛んでゆきます。松ぼっくりは冬まで残り、雪面に松ぼっくりがついた枝が落ちているのを探るのも、冬の楽しみです。小さな可愛い松ぼっくりはクラフト材料として人気です。

今年最後の彩り

11 月は落葉した木々が増えるなかで、遅く紅葉する樹種の今年最後の鮮やかな彩りが楽しめる季節です。秋から冬へ、、かわりゆく季節の情緒を味わってみませんか。

八重桜のカンザン



【八重桜のカンザン（関山）】2024/11/20
このあたりで一番早く色付くオオヤマザクラの紅葉は 9 月。遅咲きの八重桜のカンザンの紅葉は、それから 2 ヶ月程経って色付きます。紅葉の最終組の樹種のひとつです。

ヤマモミジ



【ヤマモミジ】2024/11/20
11 月は雪が降ったり、また融けたりを繰り返す季節。運が良ければ雪と紅葉の美しいコントラストが見られます。

県民の森の植物 No.91

マユミ

ニシキギ科ニシキギ属

落葉低木〜小高木。「真弓」と書き、しなやかな枝は、古くから弓の材料として利用されたことが名の由来ですが、枝をそのまま削りだして使った昔の「丸木弓」からマユミとなったという説もあります。
芽吹きは遅く、他の木々の葉が展開し終わった頃に芽吹き始めます。花は淡い緑白色で、小さく目立たないのですが、よく見るととても可愛い花です。
花は地味ですが、秋に熟す実はとても華やか。ピンク色の実が熟すと皮が 4 つに割れて、なかから朱色の種が顔を出します。皮のピンク色はだんだん抜けてきて晩秋になるとクリーム色になり、こちらでもまた鮮やかで美しいです。
材は、弓のほかには和紙や櫛などに利用されています。また、柔らかく滑らかで光沢も出る材であることからツゲやツバキと同様に将棋駒や印鑑の材としても知られています。
県民の森では「みんなの広場」奥にまとまって植栽されており、春から夏にかけては目立ちませんが、実ができる秋から冬にかけてはよく目立ち、その存在を知らせてくれます。



【芽吹き】2024/5/30



【マユミ新緑】2024/5/30



【マユミ花】2024/6/13



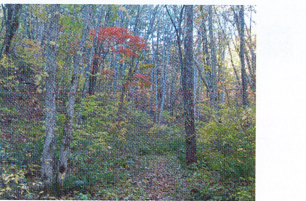
【マユミの実】2024/11/24

県民の森 秋の自然イベント

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

晩秋の森さんぽ
2025年11月1日(土)
10:00 ～ 12:00

落葉して明るくなった森のなか、森林インストラクターのガイドにより、落ち葉を踏みしめながら、森のなかをゆっくり歩いて晩秋の森を楽しめます。
【初心者対象】【小学校高学年以上対象】
【定 員】10 名
【参加費】1,000 円
【集 合】9:45 に森林ふれあい学習館



講師：日本野鳥の会もりおか会員
秋の野鳥観察会
2025年11月22日(土)
9:00 ～ 12:00

岩手山麓の森のなかで野鳥観察をしませんか。初めての方も大歓迎。双眼鏡のレンタルもあります(先着順)。運が良ければ憧れの冬鳥に会えるかも知れません。
【初心者対象】
【定 員】20 名
【参加費】1,500 円
【集 合】8:45 に森林ふれあい学習館

